

〔連載〕武州みたけの信仰⑦
おほなむちのみこと
大己貴命についてへ上

国学院大学教授
神道学博士

三橋 健

大己貴命は大国主神のこと

武蔵御嶽神社には、櫛真智命のほか
に大己貴命と小彦名命の神々が祭られ
ています。このうち今回は大己貴命に
ついて説明することにいたします。

さて「大己貴命」といっても、一般
にはなじみの薄いお名前です。ところ
が、「大国主神」といえば、この神さ
まを知っている人はすくなくないでし
よう。さらに「大黒さま」ともなれば、
人々に最も親しまれている福の神さま
であり、誰でもご存じでしょう。

じつは、大己貴命は大国主神の別名
であり、その大国主神が大黒さまであ
ることは、あまりにも有名です。

幼いころに、口ずさんだ「大こくさ
ま」という唱歌は、大黒さまは大国主
神であると歌っています。この唱歌は
大国主神のご性格をよくあらわしてい

ますので、その初めと終わりの章節を
掲げておきましょう。

- 一 大きな 袋を 肩にかけ
大こくさまが きかかると
ここに いなばの しろうさぎ
皮を むかれて あかはだか
- 四 大こくさまは だれだろ
大くにぬしのみこと とて
国をひらきて よの人を
たすけなされた かみさまよ

大名貴神



これだけでは、おわかりにならない
でしょうが、二章節と三章節を歌つて

- ③ 国作大己貴命（おほなむちのみこと）
- ④ 葦原醜男（あしはらしこを）
- ⑤ 八千戈神（やちほこのかみ）
- ⑥ 大国玉神（おほくにたまのかみ）
- ⑦ 顕国玉神（うつしくにたまのかみ）

このように、五つないし七つとい
多くの名前を持つておられ、それぞ
れのお名前には、それぞれお話が付き
まるとつております。したがって、お名
前が多いということは、それだけに活
動も多いということを示しているとい
えましょう。

- ① 大穴持命（おほなむちのみこと）
- ② 大汝命（おほなむちのみこと）
- ③ 大物主葦原志許（おほものぬしあしはらしこ）
- ④ 大国魂命（おほくにたまのみこと）
- ⑤ 大国玉命（おほくにたまのかみ）

大己貴命の読みとその意味

ところで『古事記』には「大穴牟遲
神」とのお名前はありますが、「大己
貴命」との表記を見ることはできませ
ん。『日本書紀』では、この神さまは、
もっぱら「大己貴命」のお名前で活躍

しておられます。つまり大己貴命とい
う書き方は『日本書紀』によってい
ることになります。

また、「大己貴」は「於褒姒娜武智
（おほあなむち）」という、と注記さ
れています。しかし『万葉集』には、
「おほなもち」「おほなむち」との読
み方も見られます。

そこでは「おほあなむち」「おほな
もち」あるいは「おほなむち」とい
うお名前は、どのような意味であるかを
考えてみたいと思います。

まず「おほ」ですが、これは尊敬な
いし賛美の気持ちをあらわすもので、
「偉大な」「立派な」「大事な」「重
要な」とうほどの意味であり、次の
「あな」ないし「な」をほめたたえて
いるといえます。

それでは「あな」ないし「な」、あ
るいは「むち」「もち」とは、いった
い何でしょうか。これには諸説が見ら
れます。そのなかの一説は、「な」は
「地（な）」、すなわち「土地」であ
り、「むち」は「尊い方」、すなわち
「貴人」であり、また「もち」の場合
は「持つ」ということ、要するに「お

みますと、大黒さまは皮をむかれたか
わいそうな白うさぎに、治療の方法を
教えておられます。やさしい心の神さ
まであることがわかります。

また四章節に見られるように、国土
を開かれ、世の人々をたすけられた神
さまとしても広く知られております。
このように大己貴命、すなわち大国
主神（大黒さま）は、国土を作り、人
間や動物のために病気を治す方法を教
えられた神さまなのです。

多くのお名前を持つ神さま

ところで、この神さまは沢山のお名
前を持つておられます。『古事記』には、
次に掲げるような五つのお名前が記さ
れています。

- ① 大国主神（おほくにぬしのかみ）
 - ② 大穴牟遲神（おほなむちのかみ）
 - ③ 葦原色許神（あしはらしこをのかみ）
 - ④ 八千矛神（やちほこのかみ）
 - ⑤ 宇都国玉神（うつくにたまのかみ）
- そして『日本書紀』には、さらに多
く、七つのお名前が見られます。
- ① 大己貴命（おほなむちのみこと）
 - ② 大物主神（おほものぬしのかみ）

ほなむち（もち）」とは「偉大な土地
の貴人（所有者）」の意味であるとい
うのです。

このような「地（な）」説に対し、
それを誤りとする見解もあります。そ
の説くところは「地（な）」説は、
「おほなもち」の「な」は説明でき
ても「おほあなむち」の「あな」は説明
できないというのです。すなわち「お
ほあなむち」が「おほなむち」となる
のは「あな」の「あ」が脱落したこと
によるものであり、したがって「な」
は「あな」のこと、そして、その「あ
な」は「穴」の意味であると説明して
おります。要するに「おほあなむち」
とは「偉大な穴を持った貴人」である
という説であります。それでは、この
「偉大な穴」とは、どんな穴でしょう
か。それについては次回で述べること
にいたします。

また、「大汝命」と表記されること
に注目し、「汝」は「あなた様」の意
味で、「大汝」は「偉大なあなた様」
となり、神さまを賛美している語句と
する説明もありますが、これは元来の
ものではないように思います。